

マツダ株式会社

横浜臨海部の主な事業所

◆ マツダR&Dセンター横浜（守屋町・恵比須町・宝町地区）

脱炭素分野の取組

主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

⑤ 自動車・蓄電池

取組概要

マツダは、自動車メーカーとして、(1) 省エネ・再エネ・カーボンニュートラル燃料の活用による自社工場のカーボンニュートラル化（2035年にグローバル自社工場での達成を中間目標として設定）に向けた取組、(2) マルチ電動化技術の活用・新たなハイブリッドシステム導入・バッテリーEV専用車の本格導入による電動化戦略、(3) 社会との持続的共生に向けた人とITの共創によるマツダ独自の価値創造、(4) 資源最小化への原価低減活動とサプライチェーンの強靱化などを2030年に向けて進めていく方針です。

マツダR&Dセンター横浜では、首都圏の企業・研究機関・大学等とも連携しながら、幅広い研究テーマを扱っているほか、他社との協働を見据えた共創ルームの整備も進めており、オープンイノベーションも推進しています。

守屋町・
恵比須町・宝町

大黒町

末広町

みなとみらい21

横浜港・港湾部

磯子・根岸



マツダR&Dセンター横浜の外観